



## 大崎 SPARTANS 対談シリーズ

①

今回は、部員に大崎バスケットボール部について語ってもらいます。まずは、現役を引退し、受験勉強に励む3年生から聞いていきたいと思います！！

### #5 加藤 晟也 (カトウ セイヤ)

3年生 キャプテン

F / 大田区立出雲中

モットーは、全力疾走。得意なプレーは、ステップイン。魂のこもったプレーでチームを強烈に引っ張った。



### #6 岡本 瞬 (オカモト シュン)

3年生 部長

F/C / 目黒区立第七中

モットーは、愚直。得意なプレーはフィジカルなディフェンス。身体を張り、チーム全体を盛り上げる。



### 背番号 名前 (フリガナ)

学年 / その他役職等

ポジション / 出身中学

得意なプレーと顧問より一言。





# 競争がある場所

## 魅力は、大崎 PRIDE…

顧問 — 今日は受験勉強の最中にありがとうございます。

加藤・岡本 — いえ、久々に部活に来ましたが、1・2年生身体強くなりましたね 笑

顧問 — 今日は色々聞かせてください。

顧問 — まず、2人が大崎に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

岡本 — あ、中学の時、地元の区で、区でも何となく通用しているような…、まさに井の中の蛙で、チームメイトに対しても結構強く言ったりして…、親がその様子を見て、「自分が頑張らないと試合に出れないレベルでバスケをやったら、そんなに威張れなくなるんじゃないの？」と言われてまして。そこで大崎高校の存在を知り、僕も「競争」の中に身を置きたいと思い、体験に来ました。

顧問 — 実際に体験に来てどうでしたか？

岡本 — 活気もあって、その雰囲気に着かれました。

加藤 — 自分は、中学校の時の部活動の方針が、ディフェンスを主としていました。色々な高校を見に行きましたが、大崎に体験しに来た時、國枝先生（前任の監督）の方針が、同じようにディフェンスを主としていて、自分に合っていると感じて、大崎に行きたいと思いました。

顧問 — 実際に入学してみてもうでしたか？

岡本 — 高校の部活動ってこんなに良い意味で活気があってはきはきしているのか、と思い、楽しみにになりました。

加藤 — 挨拶や礼儀がしっかりしていて、驚きました。身体も中学とは違い、当たりも強く、自分も早くこのチームでスタメンを取りたいな、と思いました。

顧問 — 大崎バスケット部の魅力を教えてください。

加藤 — 大崎 PRIDE ですね。挨拶・礼儀をはじめとした態度面を重視しようという方針です。例えば、練習中の集合や解散一つをとっても切り替えがとても早いです。そういった姿勢が見所だと思います。





悔しかったのは、専修戦…

加藤

自分は器用ではなかったの で 笑

— 岡本

**岡本** — 都立だから、という所を言い訳しないところです。都立でも、私立に勝つ、というのを見せつけられるメンタリティです。

**顧問** — これまでで、一番悔しかったことは何ですか？

**岡本** — 僕は、新人戦支部大会の決勝です。先生は、「背番号は関係ない」と言われたのですが、「6番」という番号をいただき、それを着ていたにも関わらず、決勝では自分が試合に出ることができなかった事が一番悔しかったです。

**顧問** — 正直、試合中・後はどのような心境でした？

**岡本** — 「自分が出たら、変えられる」とは思っていたのですが、それでも出なかったのは、そこまでの信用がまだなかったんだな、と。もっと努力しなければ、と誓いました。

**顧問** — 誰が出ていて、特に悔しいと思いました？ 笑

**岡本** — やっぱ、後輩ですね 笑

**顧問** — 加藤が一番悔しかったのは？

**加藤** — 自分は、関東大会予選の専修大附属戦です。

**顧問** — 具体的に教えてください。

**加藤** — その時の調子を最大限出せなかったし、「勝つ」という気持ちが強すぎて、いけない所で手を出したりしてファウルトラブルになり、結局 17 分しか出られず、チームに頼りきりなキャプテンで申し訳なかったです。

**顧問** — 分かりました。では反対に一番嬉しかったことは？

**岡本** — 1 月～3 月の自粛期間が明けた後の自分自身の成長です。コツコツやってきた事が、目に見えて実感できました。

**岡本** — 例えば筋トレなら、上がらなかったものも上がるようになったり…自分のやってきた事が結果として出てきました。

**顧問** — あの期間は、皆本当に頑張りましたからね。

**加藤** — 自分は、新人戦支部大会で準優勝できたことです。先輩たちの代で、自分はほとんど公式戦に出ることができず、経験を積むことができなかったです。そのため、キャプテンとなり「自分たちはやれるのか」という不安がありました。そのため負けはしましたが、結果が出てほっとしました。

**顧問** — では、一押しの後輩を教えてください。

**岡本** — 僕は、矢野とか三好とか、センター陣ですね。自分は器用ではなかったの で 笑。一緒にしては申し訳ないのですが、2 人は自分と似て不器用な所があるので…笑。でも、それを補ってあまりある身体を張ったプレーが目です。

**加藤** — 自分は、橋本です。同じ出雲中の後輩なのですが、不器用な所が一杯あるのですが、その分努力で取り返そうとする奴なんです。ルーズとか泥臭いプレーが目です。

**顧問** — では、最後に大崎を目指す中学生に一言お願いします。

**岡本** — 一度練習を見てもらえれば、中学とは違った「バスケの楽しさ」をちゃんと味わえるのが、「大崎」だと思います。ぜひ見に来てください。

**加藤** — 都立ではハードワークさは一番だと自負しています。色々な事情で都立に行こうと考えている人は、一緒に大崎で関東に行きましょう！